

山東省省エネ環境二一ズ

2016年3月2日 山東省環境保護庁科技・国際合作処提供

1. 投資合作分野

(1) 大気汚染対策

目標：2020年までに、環境空気主要指標年平均濃度2010年比50%改善

- ①石炭燃焼発電所・ボイラーの全面的超低排出改造
- ②新エネルギーの開発によるエネルギー消費、CO₂排出の低減
- ③都市粉塵・道路埃舞い上げ汚染問題の解決
- ④都市緑色公共交通システム建設
- ⑤揮発性有機物、悪臭等工業異臭汚染対策

(2) 水質汚染対策

目標：2020年に省管轄の重点河川が基本的に水環境機能区画の要求を達成、重要飲用水源地の水質安全が効果的に保障され、全省の地下水の質の検査地の水質ランクが安定し、近海の水質が安定改善

- ①再生水循環利用システムの構築と退化した湿地の修復・保護強化
- ②化工企業集積区の地下水汚染防止
- ③河川・湖沼の底泥汚染対策の実証拠点の拡大
- ④メタン発酵による悪臭発生と、市街地の污水直接排出問題の解決
- ⑤重点河口海湾の海岸帯湿地、海洋生態システム保護・修復の強化
- ⑥都市集中式飲用水水源の保護強化

(3) 農村と土壤環境保護

目標：2020年までに小康社会とエコ山東にふさわしい農業農村生態環境実現のため、土壤汚染対策システム確立を順次模索

- ①農村飲用水安全保障
- ②農村面源汚染防止と農村環境総合整備の秩序ある推進
- ③農村家畜家禽養殖等の有機廃棄物総合利用の推進
- ④農村地区の工業汚染を厳しく規制

- ⑤植物による土壌汚染防止
- ⑥都市の汚染土地の再開発利用

2. 技術・設備分野

(1) 水環境機能区の総合規制達成関連

①水処理システムの適正化・第三者による対策技術。目下、排水処理施設のエネルギー消費は高止まりし、環境保護産業は同時にエネルギー高消費産業となっている。専門の対策任務を専門の第三者企業に任せ、施設の運営の質を保証させる。

②農業面源汚染対策技術。山東省の農業面源総合整備は当面の緊急実施が必要な活動となっている。

(2) 区域性大気汚染環境質改善関連

①大気汚染物質の超低排出技術。湿式静電除塵技術は大気顆粒物質の排出を5ミリグラム／立方メートル以下にすることができるが、建設コストが高く、エネルギー消費が高い問題があり、この技術の適正化・グレードアップが必要である。

②クリーンコール利用技術。大気環境質の持続的明確な改善は、工業企業の汚染排出改造だけでは実現できない。分散して使用される石炭のクリーン利用をさらに重要視しなければならない。そのため、クリーンコール利用技術を導入する。

③その他技術。たとえば、固形廃棄物、土壌修復、重金属汚染防止、河川へドロ無害化処置、工場跡地面源修復、地下水汚染防止、環境の質のモニタリング技術。

(翻訳) 日中経済協会